

# サエラが構想する傘のサーキュラーエコノミー

株式会社 サエラ

代表取締役社長 山本 健

## 東京駅の情景



## 渋谷駅の情景



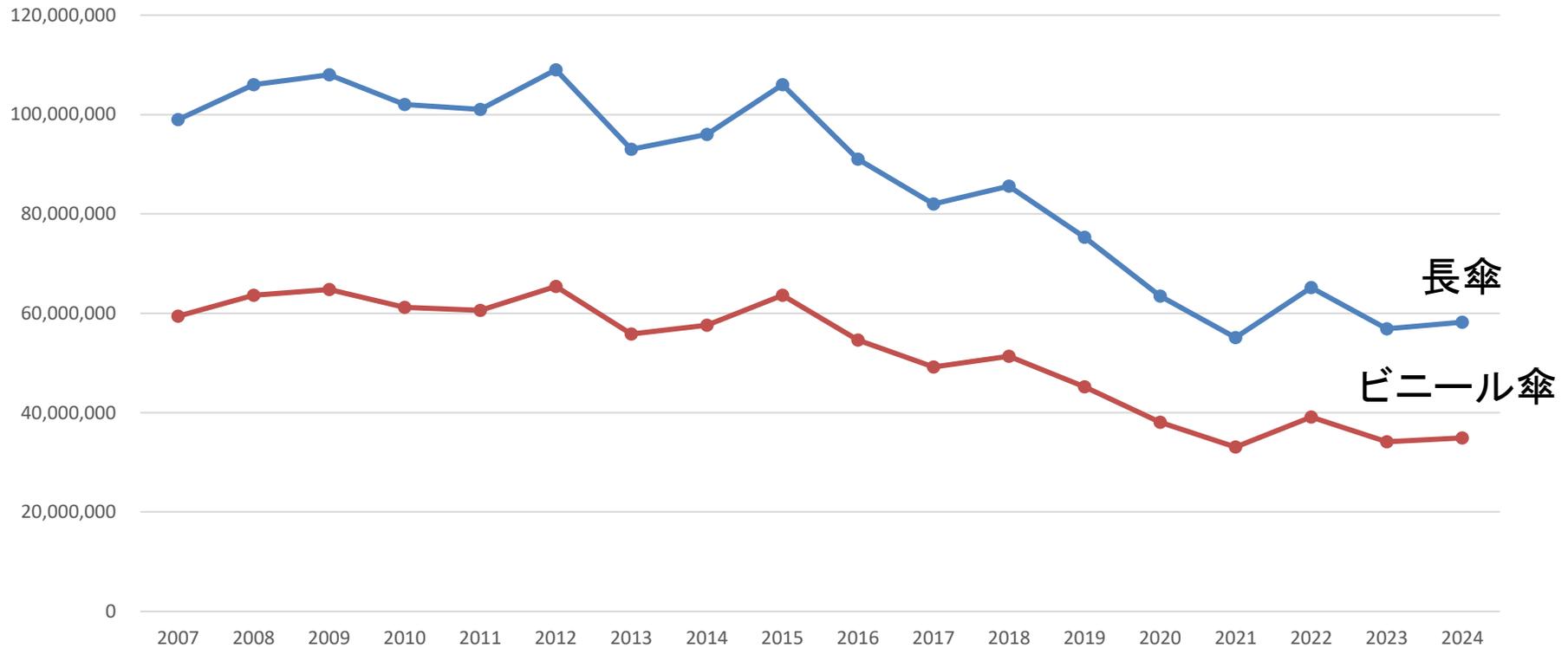


## 台風一過 雨上がりの情景



# 傘の廃棄量

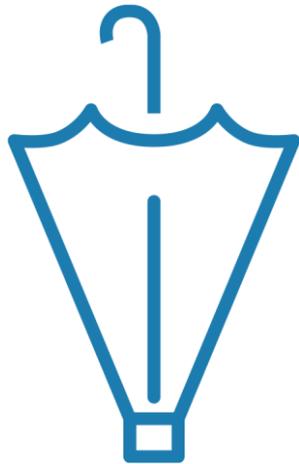
## 長傘輸入数量とビニール傘の推測数量



	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	年
長傘	99	106	108	102	101	109	93	96	106	91	82	56	76	64	56	66	57	59	百万本
ビニール傘	60	64	65	61	60	65	56	57	64	54	49	52	46	39	54	40	35	35	百万本

# 傘の所有数

一年に何本買う？



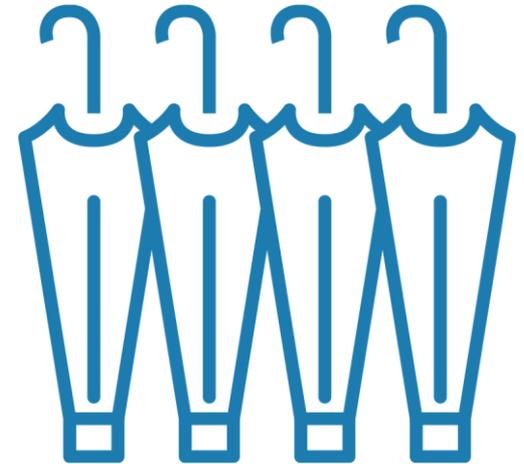
0.6本

持っている傘で  
ビニール傘は何本？



1.6本

傘を何本持っている？



4.2本

出典 ウエザーニューズ 世界の傘事情調査

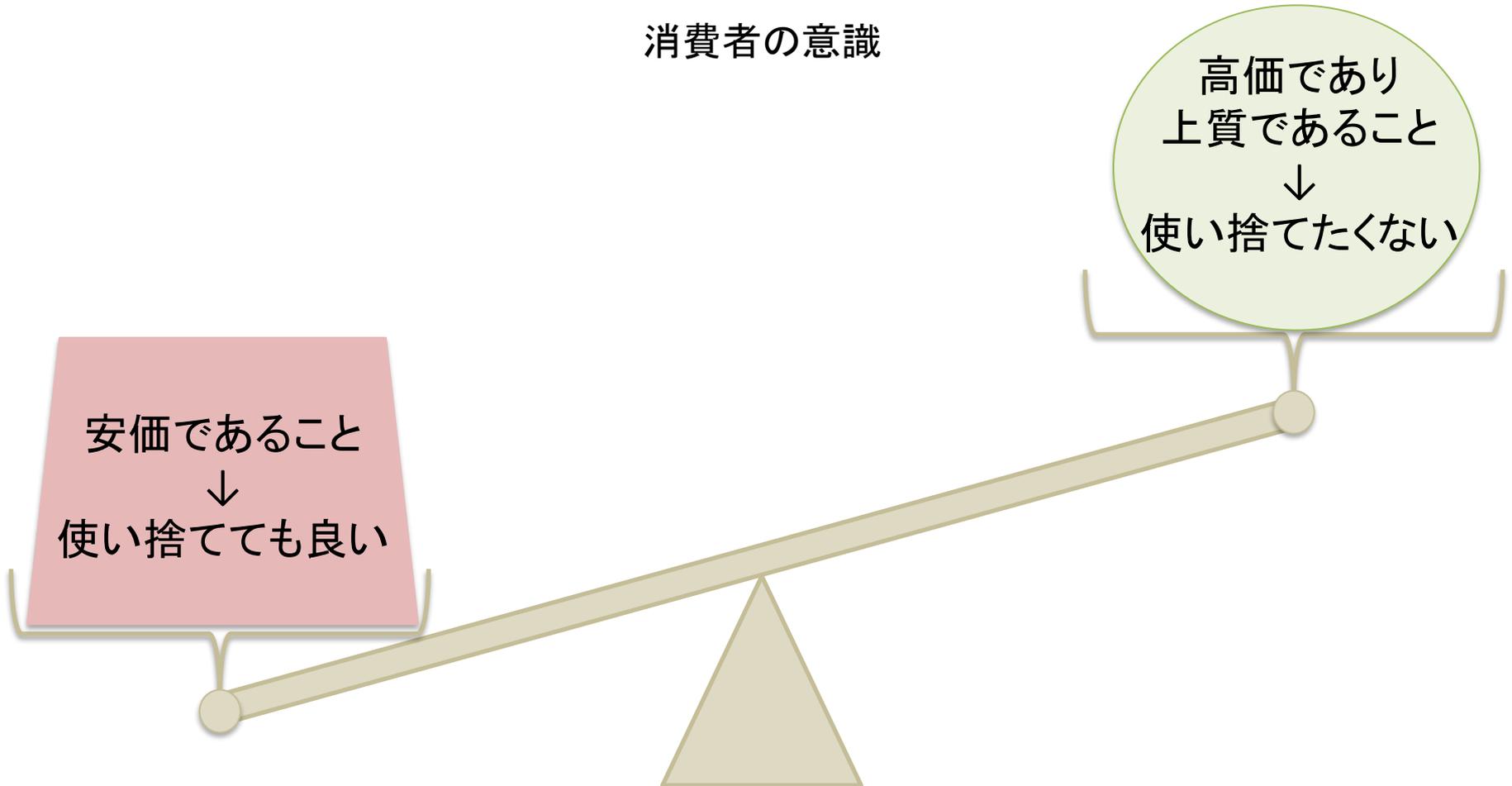
## 廃棄された長傘の数量（当社推定）

1年 約3,600万 本

1日 約10万 本

緊急買いの消費者は、ビニール傘をなるべく安く買い、使い捨てる意識が強い

消費者の意識



## 傘の愛着指数



ビニール傘に愛着がとてもある

4%

愛着がある

11%

ない

44%

その他

41%

2015年ウエザーニュース調べより

## ビニール傘の複合材



鉄

アルミ

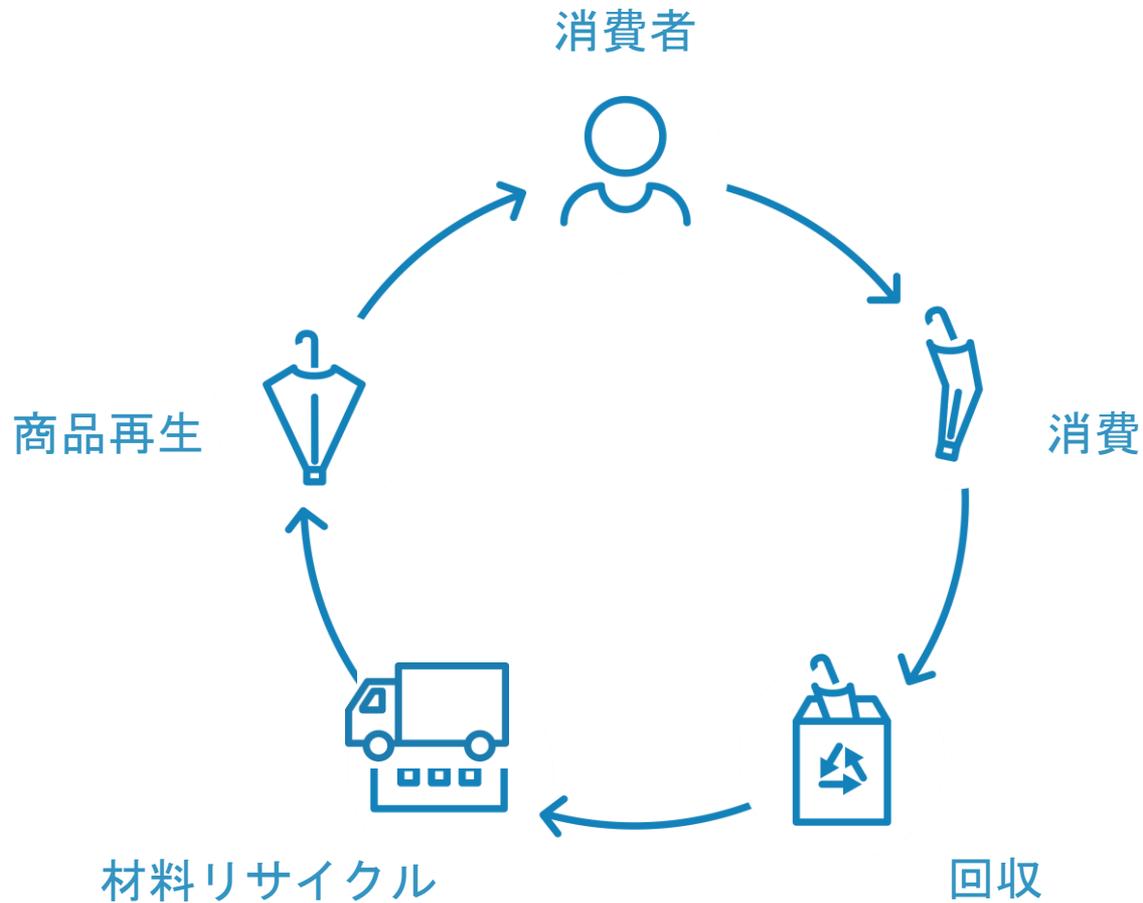
プラスチック

真鍮

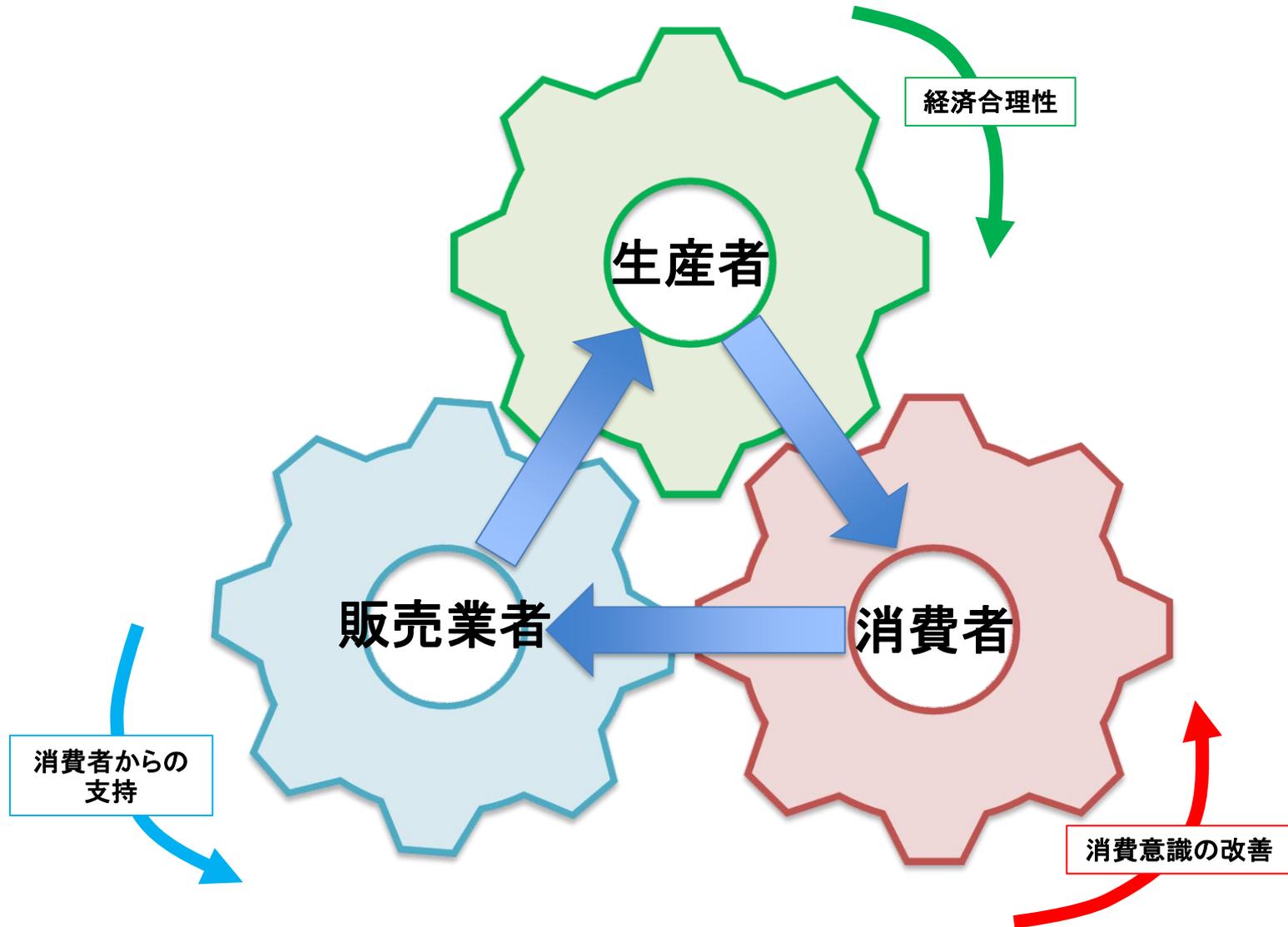
ポリエステル



## 再資源を目指す消費のしくみ



# 資源を無理なく循環させるために必要なこと



『捨てないビニール傘』  
を構想して開発・発売

“環境配慮要素”と  
“マーケットから  
支持される要素”の  
両方を満たした  
傘を発売

日本初のシェア傘  
サービス “アイカサ”  
との協業開始

サーキュラー  
エコノミーの  
実現と普及



**1**  
EVEREON  
エバーイオン

**3**  
+TIC  
プラスチック

**5**  
『アイカサ』  
との  
協業開始

**8** モノファクトリー社と  
廃品回収後の仕組みを整える

2006

2016

2017

2019

2020

2022

2024

2025...

**2**  
トップバリュ  
fururi  
ふるり

**4**  
+TIC LITE  
プラスチックライト

**6**  
リカサ  
Re: 傘  
実験

**7**  
サステナブレラ

EVEREON と同構造  
“着せ替え”可能・  
ファッションブルで  
長く使える傘を  
大手チェーンで販売

大手コンビニ等  
チェーンで販売。  
広域店舗展開への  
アプローチとする  
↳ 傘の消費構造の  
本格的改革への第一歩

“傘のサーキュラー  
エコノミー”の  
仕組み作りを試みる

TBM 社・  
PALTAC 社  
との協業

サーキュラーエコノミー実現の  
モデルケース企業を目指す

## 商品での取り組み

2006年

### <特徴>

- ・ 耐久、強度向上
- ・ 生地に着せ替え
- ・ 機能
- ・ デザイン



商品名 Evereon (エバーイオン)

# 生地に着せ替えでロングライフの実現



# Evereon



耐久性

※当日、動画を流します※

BE STRONG, BE HIGH-QUALITY

## 商品での取り組み

2017年



商品名 +TIC (プラスチック)

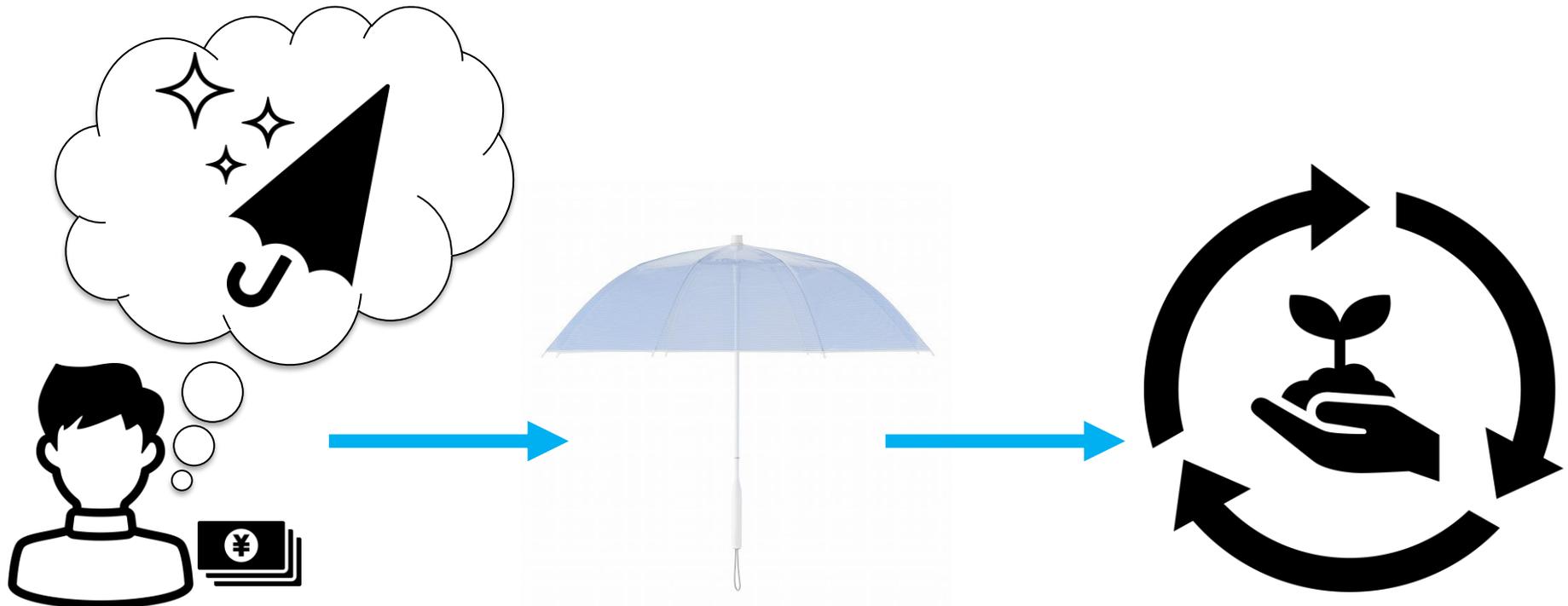
### <特徴>

- ・ 統一素材 (プラスチック)
- ・ 分解構造 (リペアブル)
- ・ 耐久、強度向上
- ・ 生地 of 張り替え
- ・ 機能
- ・ デザイン

※当日、動画を流します※



# 消費者の自然な購買が環境配慮に繋がるのが理想



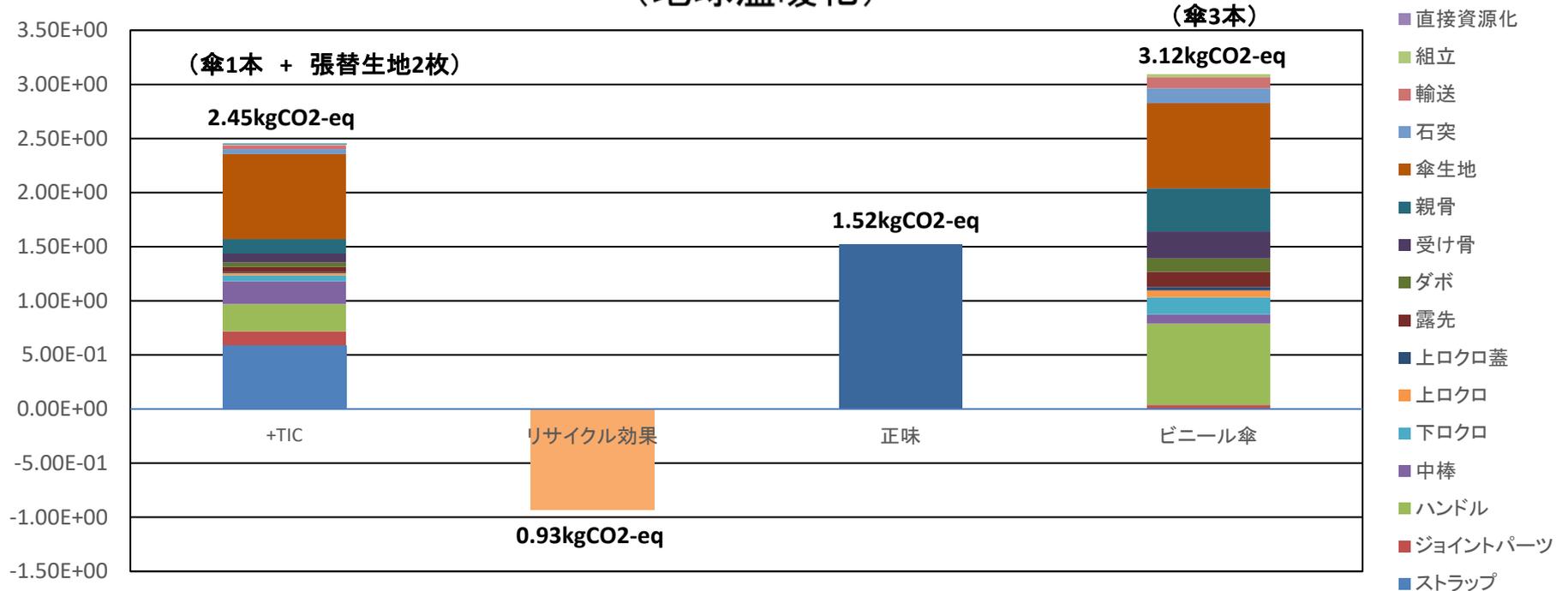
デザインや品質を根拠とした  
購買動機

結果として  
サーキュラーエコノミーに参加

※当日、動画を流します※

# +TICのLCA検証

## +TIC と ビニール傘のGHG排出量(6年)の比較 (地球温暖化)



- リサイクル効果を含めていない+TICとビニール傘を比較すると0.67kgCO<sub>2</sub>-eq環境低減している
- +TICの正味とビニール傘を比較すると約半分の数値となった
- +TICの負荷が一番かかっている部分はストラップである



## 評価実績

- ・ 2017年グッドデザイン賞



公益社団法人日本工業デザイン協会の

- ・ デザインミュージアム  
19ゴールドセレクション賞



- ・ 2017中国デザイン  
インテリジェンスアワード  
エクセレンス賞 (シルバー)



中国设计智造大奖  
Design  
Intelligence  
Award

# 現在の販売先 (敬称略)

グッドデザインストア

松屋銀座 デザインコレクション

六本木 蔦屋書店

京セラ美術館

東京都現代美術館

他



## みらいへの取り組み

## +TICの普及型商品

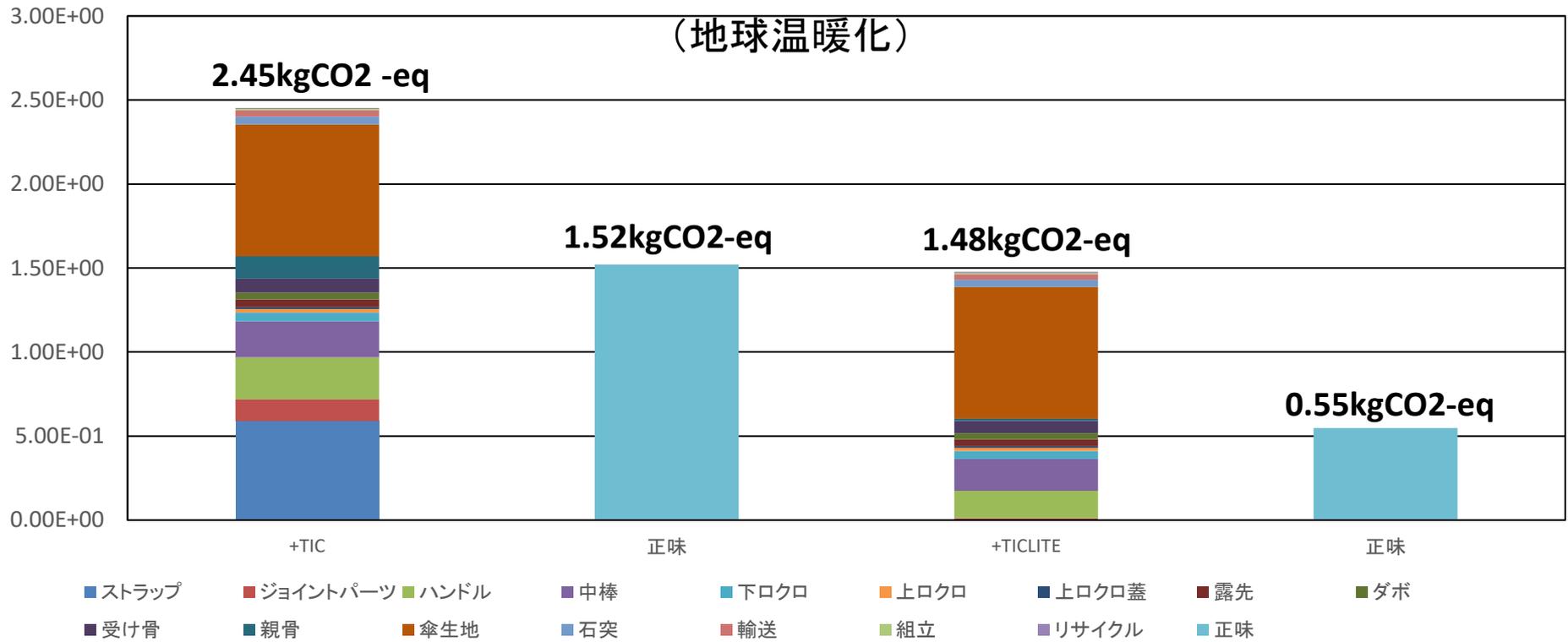


## +TIC LITE(プラスチックライト)



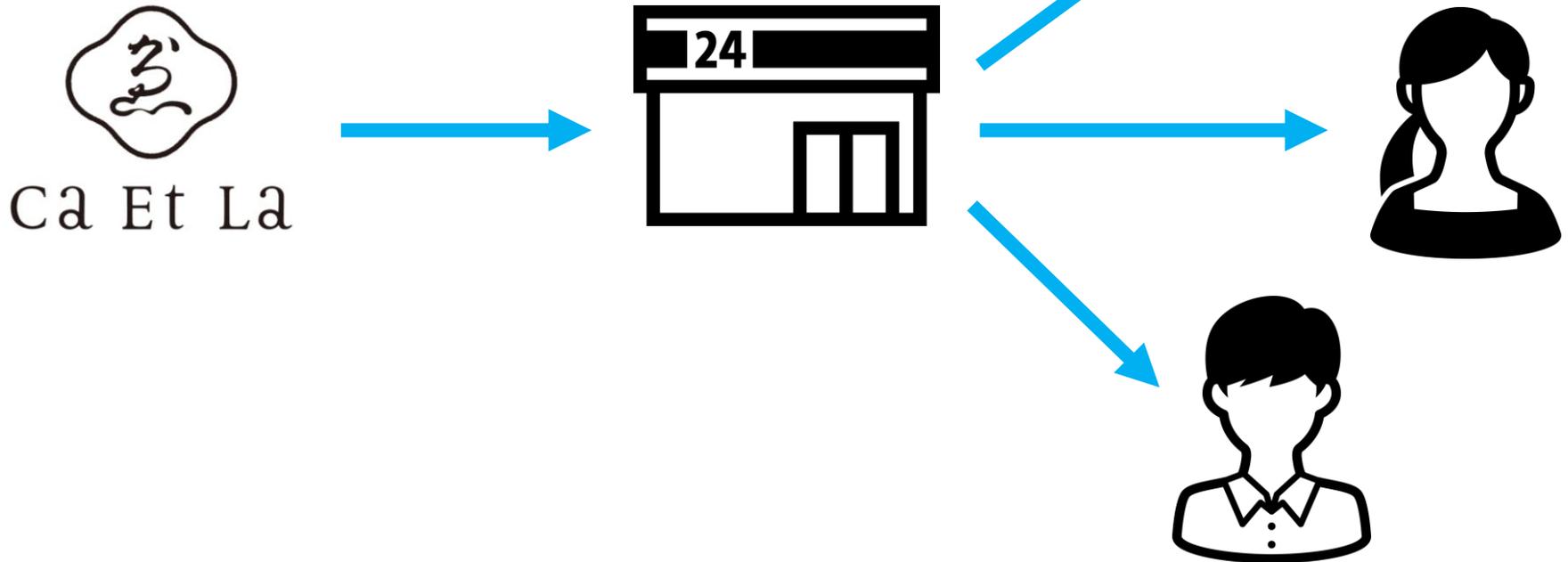
## +TIC と +TIC LITE のGHG排出量の比較

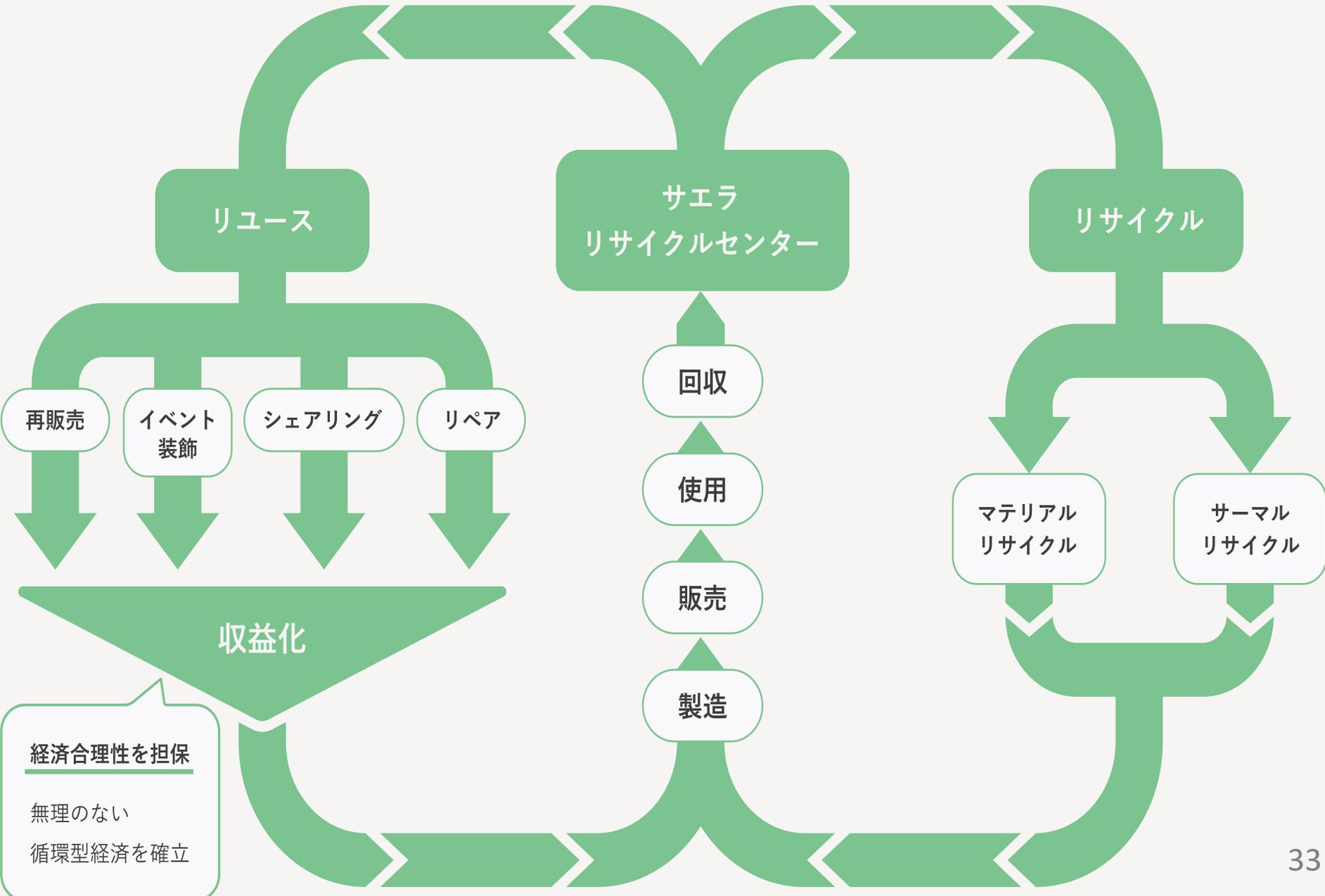
(傘1本 + 張替生地2枚)



- +TICと+TIC LITEにおける正味部分を比較すると約64%削減することがわかった
- 傘生地の負荷が+TIC、普及型商品両方とも傘生地の負荷が一番大きいことがわかった
- 両者ともに傘生地のみ交換のため傘生地の負荷が目立つ

# 広域販売店にアプローチし消費構造を変える

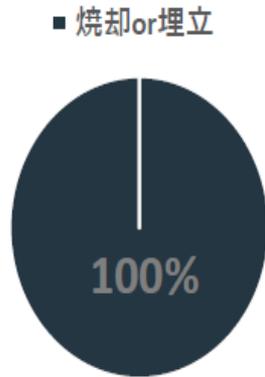




## 現状把握：取扱い傘の素材概要

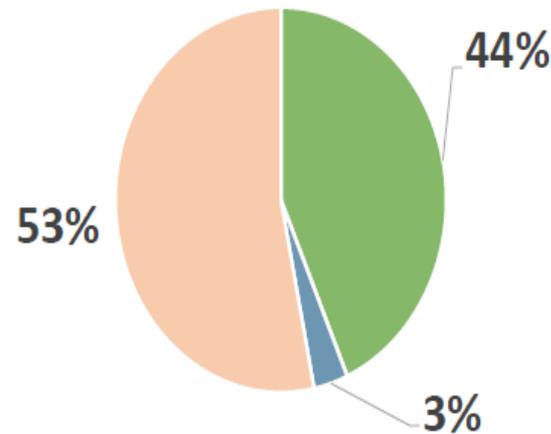
各部材ごと想定重量/リサイクル方法の多い区分にて算出

【回収しなかった場合】  
一般消費者が直接廃棄



【回収した場合】  
解体分別して排出

■ マテリアル ■ サーマル ■ 焼却後リサイクル



再資源化率  
(マテリアルリサイクル率)

44%

リサイクル率

100%

(焼却後リサイクルも含む)

### ◆ポイント

- ・回収されず、一般消費者が直接廃棄に出す場合は各自治体ごとに扱いが異なるものの、素材ごと分別は行われないため多くは「焼却後リサイクル・焼却時発電・焼却・埋立」等となり、再資源化されない。
- ・回収した場合でも、53%を占める焼却後リサイクル（RPF）が再資源化率を妨げている。

# 教育、啓蒙

※当日、動画を流します※

# ワークショップ



2018年2月10日-11日 岐阜駅前 問屋エキスポ

